

アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。

パヴェーゴルフ
VALUE GOLF
www.valuegolf.co.jp

『中国ゴルフ市場(2)』

国家の政策の一つとしてスポーツの育成強化に力を入れている中国だが、それは、ゴルフもろしく。数年前には、リオデジャネイロオリンピックに向けて、かつて世界ランクNo.1に君臨しメジャー2勝を誇るカリスマ、グレッグ・ノーマン(豪)をナショナルチームのコーチに招聘していた。その後、欧米の有名コーチなどが加わり、選手だけでなく、中国人コーチたちへも指導を行い、世界レベルの選手を育てる土壌を日々作っているようだ。

アジアの他の国にも目を向けてみると、世界で活躍する選手が年々増えている。LPGAの女子の賞金ランキングをみても、韓国の選手をはじめ、中国、台湾、タイの選手が欧米の選手たちに交じって、上位に名を連ねている。彼女らは、幼少の時からアメリカなど海外へゴルフを学びに行き、貪欲に吸収する力を持っている。中々海外へ行くチャンスのない選手は、制約の多い環境の中でも、スイングの動画を送って見ってもらったり、デジタル技術を駆使して、コミュニケーションを取り、ハングリーに自分のゴルフに磨きをかけている。これは指導者側も同じで、最先端の技術や、ティーチングについて学び、それを活かして世界で活躍する選手を育成しているコーチがたくさんいるようだ。また、欧米の有名なコーチたちも、ここにビジネスチャンスを見出し、今後発展する中国や東南アジアへ進出するケースも珍しくなく、レベルは上がっていく一方なのではないだろうか。

アジアの特に東南アジアでは、ゴルフの土壌を作っている選手やコーチたちが皆、若い。若い層の中でゴルフが生まれ、ゴルフファンが増えることは、非常に明るい状況なのではないだろうか。日本には、日本勢最多の米ツアー4勝目を挙げ、「世界最強ゴルファー」の称号を得ている松山英樹選手がいる。彼に憧れ、ゴルフをはじめ子供たちも大勢いることだろう。日本では、育成する環境は、整っている。アジアの中でも負けないように、今後、さらなるゴルフ市場が発展することを願っている。



戸張 捷 Sho Tobaru

1945年、東京生まれ。
高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業(現SRIスポーツ)に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。